



警戒レベル Stage2 へ移行 新型コロナウイルス感染症

令和3年9月29日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

マスクは正しくつけましょう!

感染症発生動向速報

(令和3年第38週分・9月20日～9月26日)

《インフォメーション》

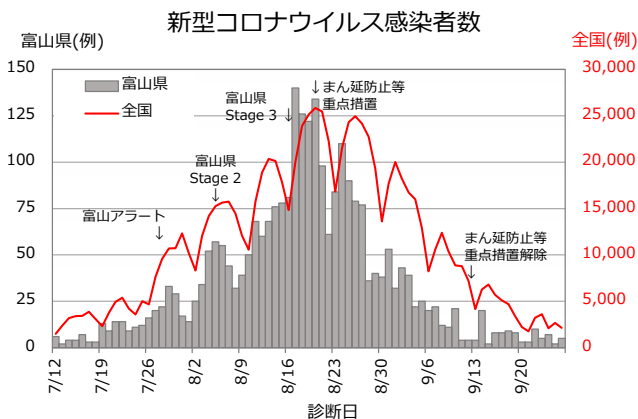
●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、9月26日時点で1,694,675例となり、17,482例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は、8月下旬をピークに減少傾向となっています。こうした状況を受けて、9月30日期限であった緊急事態宣言、まん延防止等重点措置は全ての都道府県で解除されることが決定しました。

県内の今週の新規感染者数は35例報告され(図;棒グラフ)、9月26日時点の累積感染者数は4,784例になりました。県内での感染者数は減少傾向となり、入院者数、新規陽性者数などの指標がすべてステージ3の基準を下回っていることから、9月27日から警戒レベルはステージ2へ引き下げられました。県内の昼夜を問わない不要不急の外出の自粛は解除されましたが、引き続き県外との往来には慎重な判断が必要です。また、会食についても「富山県新型コロナ安心対策飲食店」で4人以下、2時間以内が求められています。現在、市町村では若い世代へのワクチン接種が進められています。対象となっていない12歳未満の子供たちを感染から守るためにも、接種対象となっている家族は積極的に接種を受けましょう。

衛生研究所で実施する、感染性が高いデルタ株を検出するためのL452R変異検査は今週、8件中8件(100%)が陽性となりました。8月中旬以降、ほぼすべての感染例がデルタ株によると考えられます。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒や正しいマスクの着用(できる限り不織布のもの、鼻にすき間なくフィット)、十分な換気、対人距離を保つといった一人一人が取り組むべき基本的な感染対策を継続することが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 35件
- 二類感染症 結核 1件(80歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(第37週診断分:20歳代、男性、08、VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件(80歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 アメーバ赤痢 1件(50歳代、男性、腸管アメーバ症)
- 梅毒 1件(第37週診断分:30歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.86(↑)	2.14
2位	突発性発しん	0.28(↑)	0.21
3位	RSウイルス感染症	0.17(↓)	0.34
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.17(↓)	0.45
5位	水痘	0.14(↑)	0.07
6位	咽頭結膜熱	0.10(↑)	0.00

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第38週 令和3年9月20日～令和3年9月26日）

分類	疾患	今週報告分（第38週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	3		9	1	18	4	35	369	278	1,064	290	2,105	98	4,204
二類感染症	結核					1		1	10	6	27	11	46		100
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	7	1	5		14
四類感染症	E型肝炎								3				2		5
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症	1						1	3	3	12	1	8		27
五類感染症	アメーバ赤痢					1		1	1				2		3
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	2	4		8
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										5	1	2		8
	後天性免疫不全症候群								1				2	1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		12		15
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	5		20		27
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症		1		2		2		5	132	130	1,578	391	824		3,055
		0.25		0.25		0.20		0.17							
咽頭結膜熱		1	1	1				3	39	39	136	7	141		362
		0.25	0.33	0.13				0.10							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				3		2		5	66	39	446	84	233		868
				0.38		0.20		0.17							
感染性胃腸炎		18	19	8	11	27		83	661	376	545	204	1,204		2,990
		4.50	6.33	1.00	2.75	2.70		2.86							
水痘				2		2		4	1	12	29	13	51		106
				0.25		0.20		0.14							
手足口病									7		14	2	14		37
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん		1		3	1	3		8	49	30	127	46	113		365
		0.25		0.38	0.25	0.30		0.28							
ヘルパンギーナ			1	1				2	26	24	84	4	20		158
		0.33	0.13				0.07								
流行性耳下腺炎					1		1	2	2	9	7	13		33	
					0.10		0.03								
流行性角結膜炎								3	1					4	
細菌性髄膜炎												2		2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎										1	9	1		11	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）												1		1	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週（9月6日）～の集計です。